

長野県方言の代表語「ずく」の語義 ー市町村誌の分析ー

大 橋 敦 夫
OHASHI Atsuo

キーワード：長野県方言・ずく・語義

はじめに

長野県方言の代表語である「ずく」の語義について考察する。まず、方言話者の最も身近でともに生活している地域の方々の手になる市町村誌の記述を対象資料とする。

本稿での分析をふまえ、「ずく」の語源および「ずく」の意義素・派生語についての考察、さらには、方言グッズ等における活用事例の調査・分析へと進んでいきたい。

1. 市町村誌における「ずく」の記述

長野県内の公共図書館では、市町村誌を郷土資料のコーナーに配架し、行政区分上の4区分（北信・東信・中信・南信）で並べている。方言区画とはズレがある^{注1)}が、資料の閲覧の都合上、以下には、行政区分に従って、平成の大合併以前の市町村を列挙する。

なお、方言の記述内容は市町村誌によって異なるが、「ずく」に関する部分のみを抽出した。また、市町村内の区誌も調査対象とし、該当の市町村のところに表示（[]）した。

■北信

長野市〔長沼〕

ずくなし 寒がり、なまけ者

〔北尾張部〕

ずくなし 怠けもの

〔伺去〕

ずくなし 怠け者（労働をきらう人）

〔保科〕

ずく 根気 「あいつはずくあるなあ」

〔牛島〕

ズクガでる	精が出る
ヅクナシ	働く意欲のない人
[今里]	
づくなし	なまけもの
[松代]	
ヅクナシ	怠惰の意
[豊栄]	
ヅクナシ	怠惰の意
[七二会]	
ずくなし	怠惰の人
須坂市 [日野]	
ずくなし	怠者
中野市 [間山]	
ずく	やる気 気力
[吉田]	
ずく	〈意欲・根気〉 こう寒くちやずくねえな
[草間]	
ズク	やる気
飯山市	
ズク	精を出して働く力
更埴市 [雨宮]	
ずく	励む力
ずくなし	不精
ずくを病む	怠る。おっくーがる。
ずくを出す	精出す
[杭瀬下]	
ズク	精を出して働く力 「もっとズクを出してやれよ」
埴科郡	
坂城町	
ずく	骨身惜しまずよく働く
ずくなくなる	動くのがいやになる
ずくなし (ずくをやむ)	怠け者、骨おしみ
おーずく	大きな仕事はするが細かい仕事を嫌う
こずく	よく気がついて動くこと
上高井郡	
高山村	

ズク	やる気
下高井郡	
山ノ内町	
ヅクナシ	骨惜みをする事
上水内郡	
ヅクナシ	労働を厭ふ人
信州新町	
づくなし	労働を厭う人
信濃町	
ずくなし	なまける、労働を嫌ふ
〔落合〕	
ずくなし	勤労意欲なし
牟礼村	ー（記載なし）
三水村	
ずくなし	なまけもの
鬼無里村	
ヅクナシ	労働を厭う人（1967）
ズクナシ	ものごとをしない・やる気がない（2004）
小川村	
ヅクナシ	働くことを厭う人
中条村	
ヅクナシ	働く意欲のない人
下水内郡	
ヅクナシ	労力を惜む人
■東信	
上田・小県	
ずく	精根
ずくなし	なまけ者
上田市	
ズク	根気・やる気・がんばり。「ズク デヤスナー」
ズクナシ	根気がない人（別所温泉分去）
コズク	こまめにやることを強調した言い方（御所）
佐久市	
ズク	根気
ズクナシ	怠け者

[平賀]	
づくなし	なまけ者
南佐久郡	
づくなし	怠ヶ者 (1919)
ズク	精を出してする気力 活力 (1996)
臼田町	
ずく	①働き 気働き 活動 ②根気 気力 やる気
づくなし	ものぐさ 仕事ぎらい
こずく	①てきぱきとよく働くこと
	②細かなことにも骨おしみをしないこと「あの人はコズクがある」
佐久町	
コズク	よく動きまわる。「あの人はコヅクがある。」
ズクガアル	こまめに動くこと。反対はズクナシ。
小海町	
ズクナシ	動くことがきらいの人。怠け者。
川上村	
コズク	よく働く。「あの人はコズクがある。」
ズクガアル	こまめに働くこと。
ズクナシ	なまけ者。働くことをきらう人。
南相木村	—
北佐久郡	
ヅクナシ	怠者
望月町	—
御代田町	
ズクナシ	やる気、活力などが見えない
立科町	—
北御牧村	
ズク	働く意欲。やる気。我慢強く続ける気力。「ズクー出せ」。
	伊豆では「ズツ」という。こまめによく働く人は「コズクガアル人」。面倒くさがり家、物事をするのをおっくうがる人は「ズクナシ」という。
小県郡	
東部町	
ずく	①根気・根性・元気 ②働くこと
ずくがない	おっくうだ
づくなし	ものぐさ

真田町

ズク

働く意欲。やる気。我慢強く続ける気力。「ズクー出せ」。

伊豆では「ズツ」と言う。こまめによく働く人は「コズクアル人」。面倒くさがり家、物事をするのをおっくうがる人は「ズクナシ」と言う。

[長]

ずくがある

精を出してこまめに働く

ずくなし

精を出さずになまける 「ずくなしな人だ」

[菅平]

ずくを出す

精を出す

青木村

こずく

よく動きまわる

ずくなし

手を出すことをきらう

■ 中信

東筑摩郡・松本市・塩尻市

ずく

根気・熱心の度合

ずくなし

なまけ者

こずくがある

こまごましたことによく働く

松本市 [今井]

ずく

根気＝ずくなし（なまけ者）

こずく

根気・こまめに働く

大町市

ー

塩尻市

ずく

こまめに働くこと 根気 熱心 「ずくを出せ」

ずくなし

怠け者 根気の続かぬ者

こずく

ずく こずくがある（「こずけえ」とも）

[片丘]

ずく

こまめに働くこと

ずくなし

怠け者

おーずく

細かいことをきらうこと

こずくがある

こまめによく働く

[南内田]

ずく

こまめに働くこと

ずくなし

怠け者

おーずく

細かいことをきらうこと

こずくがある	こまめによく働く
〔平出〕	
ずく	こまめに働くこと・根性・やる気
ずくなし	怠け者
おおずく	細かいことを嫌うこと
こずくがある	こまめに働く
〔北小野〕	
ずく	こまめに働くこと
ずくなし	怠け者
おーずく	細かいことをきらうこと
こずくがある	こまめによく働く
木曽郡	
木曽福島町	—
上松町	
ズク	やる気 ズクをだせ ズくなし 全郡
ズクナシ	怠惰な人、やる気の無い者
木祖村	
ズクをだす	骨身を惜しまない
ズクナシ	なまけ者
コズクがある	ズクがある
日義村	—
三岳村	—
王滝村	
ヅクナシ	なまくら
山口村	
ズクナシ	不精
東筑摩郡	
坂北村	—
坂井村	—
山形村	
ずく	根気 積極性
朝日村	
ずく	いろいろに手を出して動く
ずくなし	怠け者・手を出すことをきらう
こずくがある	こまごましたことによく動く
南安曇郡	

ずく	根気
ずくなし	無精者
豊科町 [中曽根]	
ずく	やる気
穂高町	
ズク	根気・やる気
ズクがない	骨惜しみする。
ズクナシ	やる気がない者、怠け者。
ズクがある	骨惜しみしない。
ズクを出す	やる気を起こす
梓川村	
ずく	根気、やる気
ずくがある	せっこうがよい
三郷村	
ズク	ジク（＝意気地なし/青森県弘前市）と類似（2000）
北安曇郡	
ズク	根気（ドーズリ 怠け者）
池田町	ー
松川村	
ずくなし	やる気がない。無精
八坂村	
ズク	根気
美麻村	
ズクナシ	怠け者（ドーズリとも）
白馬村	ー
小谷村	
ズクナシ	怠け者
コズク	細かいことにせいがでること。「コズクを出さねじゃ」など。
[拇池]	
ずくなし・ずくなー	怠け者
こずく	細かいことに精が出ること
■南信	
飯田市 [県]	
ずく	骨身おしまず働くこと
[龍江]	

ズクナシ
岡谷市〔小井川〕

ずくなし
おおずく

諏訪市〔豊田〕

づく
づくなし
こずく

〔湖南〕

ずくなし
こずくがある

伊那市

ズク
ズクナシ
ズクがある
ズクを出す
ズクを抜かす
ズクを病む

〔美簗〕

ずくなし

茅野市

ずくがある
こずくがある

〔豊平〕

ずくなし

〔芹ヶ沢〕

ずくがある

〔槻木〕

ずくがある
ずくをやむ

諏訪郡

下諏訪町

ズクナシ
オーズク
コズク

「ヅク」尽くすから、根気・努力・勤勉がない

根気のないやつ。無精者。

大きい仕事をする気力があっても、細かい仕事をする気力がないこと。

能く働くの意。精出して働くこと

仕事きらい

～仕事

やる気のない人、怠け者

こまごま働く

根気

怠け者

根気強い

やる気になる

やる気をなくす

怠ける

働かない

骨惜しみをしない

骨おしめしない

小まめに動かない

骨惜しみをしない

進んで事にあたる

こまめに動かない

怠け者、骨惜しみ、苦勞をいやがる者

大きな仕事はするが細かい仕事はしないこと

細かなことに気がつきよく働く人

富士見町	
ズク	労を厭わずに働く生活態度・性分・意欲・気力などを総合した言葉。コズクは小まめにズクを出して働くこと。オオズクは大きな構想と実行力。「ズク病んでねえで、めた稼げよ。」
ズクナシ	ズクがない人、怠け者、無精者。諏訪地域では、ズクの有無は人間性を評価する重要な指標。
〔葛窪〕	
ズクダセ	やる気になれ
原村	ー
上伊那郡	
ズク	熱心さ。ことをする気力。「アレワ ズクノ アル 人デ タマゲタ。」
ズクヲヤム	骨惜しみをする。「ズクヲヤム モンデ イー 仕事ガ デキネー。」
コズク	細かな仕事に精を出す性質。「アノ 人ワ フントニ コズクガアル。」
高遠町	ー
辰野町	
ズク	熱心さ 骨惜しみ ことをする気力「ズクナシ ズクヲヤム」
オーズク	大きな仕事はするが、小さな仕事はきらいなこと
コズク	細かな仕事にも精を出すこと オオツクの反対
飯島町	ー
南箕輪村	
おーずく	細かい仕事を嫌うこと。対義語 こずく「父ちゃんは おーずくで困る」
こずく	こまめに働く性質。「こずくのある人だ」
中川村	
オオズク	おおざっぱな人
長谷村	
ズク	根気よく働くこと。小ズク＝こまめに働くこと。大ズク＝小ズクがないこと。「ズクナシノ オーニショイ。(ズクのある人なら何度にも分けてやることを、ズクのない人はためておいて一度に大きな荷をせおうの意)。」「(ことわざ)
宮田村	ー
下伊那郡	
松川町〔上片桐〕	

ずく	熱心の度合「ずくがある」
阿南町	—
清内路村	—
浪合村	
ズク	精魂 ズクが良いの反対が「ズクナシ」
(ズクナシ)	(無精)
平谷村	
ズクナシ	働きがない
根羽村	—
天龍村	—
泰阜村	—
喬木村	—
大鹿村	
ずくなし	なまけ者、労力を出さない
上村	—
南信濃村	
ズクナシ	精がない (1976)

2. 市町村誌の説く「ずく」の語義・派生語・語源

「ずく」の語義として、最も多く挙がるのが、根気・やる気である。続いて、精を出して働く(力)、骨身惜しまず働く、である。他のキーワードとしては、精根・熱心・根性がある。

語義の中心には、共通性がある(勤労を尊重する気持ち)と思われるが、記述の背景には、うまく共通語に置き換えられないもどかしさも、感じられる。それこそ、方言の方言たる所以だが、「ずく」を他の方言で説明している例も散見された。

「ずくがある」……せっこうがよい [梓川村]

「こずくがある」……ズクがある [木祖村]

「ずくなし」……ドーズリ(怠け者) [美麻村]

派生語としては、「ずくなし」が筆頭例で、方言の収録対象語としては、「ずく」の1.5倍ほど登場している。語義は、「ずく」の反意語として位置づけられ、怠け者・無精・怠惰・根気がない等と説明されている。「寒がり」(長野市・長沼)とする例があり、雪国・信州らしい意義づけである。

また、表記には「ずく」「づく」のゆれがあるものの、現代語においては、発音上の区別はない。しかしながら、それを意味の違いとして説く例([鬼無里村])があり、ユニークである。

「ヅクナシ」……労働を厭う人

「ズクナシ」……ものごとをしない・やる気がない

他の派生語で多いのは、「こずく」「おおずく」を挙げるもので、反意語としてセットになる

場合もある。地域別では、中南信に多く見られる。

以下、例は少なくっていくが、下記のような語句の例があった。

ずくがある・ずくをだす・ずくを病む・ずくがない・ずくがでる・ずくをぬかす・

ずくなくなる・ずくだせ・ずくなー

なお、「ずく」の語源について、『尽くす』から」とするものが1例あった（〔飯田市・龍江〕）。

次稿で、考察の対象にしたい。

おわりに ——今後の課題——

先述のとおり、次稿では、本稿を土台に「ずく」の語源・意義素・派生語等について考察し、長野県の代表語「ずく」についての総合的研究を示したい。

《注》

1. 具体的にズレる主な地域は、次のところである。

木曽郡（行政区分：中信／方言区画：南信）

諏訪地域（行政区分：南信／方言区画：中信）

【調査対象文献書誌】

（紙幅の都合で、書名・刊年のみとする）

◆北信

長野市：長沼村史（1975）ふるさと北尾張部（1992）伺去誌（1999）保科誌（2016）

牛島区誌（1985）今里区誌（2014）松代町史 下巻（1929）

とよさか誌（1982）七二会村史（1971）

須坂市：日野村志（1959）

中野市：間山区史（2005）吉田区誌（2010）草間区誌（1999）

飯山市誌（1995）歴史篇下

更埴市：雨宮県村誌（1959）杭瀬下村誌（1986）

坂城町誌（1979）上巻

高山村誌（2006）第3巻

山ノ内町誌（1973）

上水内郡誌（1907）

信州新町史（1979）下巻

信濃町誌（1968）：落合誌（1982）

牟礼村誌（1997）上
三水村誌（1980）
鬼無里村史（1967）・鬼無里村誌（2004）
小川村誌（1975）
中条村誌（1980）
下水内郡誌（1913）

◆東信

上田小県誌（1973）第5巻
上田市誌（2003）26巻
佐久市志（1990）民俗編下：平賀村誌（1969）
南佐久郡志（1919）・南佐久郡誌（1996）方言編
臼田町誌（2008）第2巻
佐久町誌（1982）民俗編
小海町（1973）社会編
川上村誌（1986）民俗編
南相木村誌（2003）南相木の民俗習俗
北佐久郡志（1915）
望月町誌（1996）第2巻
御代田町誌（1996）民俗編
立科町誌（1995）民俗編
北御牧村誌（2000）民俗編
東部町誌（1989）民俗編
真田町誌（2000）民俗編：長村誌（1967）菅平その自然と人文（1964）
青木村誌（1994）民俗・文化財編

◆中信

東筑摩郡 松本市 塩尻市 誌（1965）第3巻下
松本市史（1997）第2巻：今井区誌（1990）
大町市史（1984）第5巻
塩尻市誌（1993）第4巻：片丘村誌（1985）南内田区誌（1980）平出区誌（2009）
北小野地区誌（1987）
木曾福島町史（1983）第3巻 現代篇Ⅱ
上松町誌（2000）第2巻民俗編
木祖村誌（1998）民俗編
日義村誌（1998）民俗編

三岳村誌（1987）上巻
村誌大滝（1961）下巻
山口村誌（1995）下巻
村誌さかきた（1990）上巻（自然編・民俗編）
坂井村誌（1992）
村誌やまがた（1980）付編Ⅲ
朝日村誌（1989）自然 現代 民俗編
南安曇郡誌（1967）第2巻下
豊科町：中曽根区誌（2017）
穂高町誌（1991）第2巻
梓川村誌（1993）自然・民俗編
三郷村誌（1980）・三郷村誌（2000）Ⅱ
北安曇郡誌（1984）第5巻
池田町誌（1992）歴史編Ⅰ
松川村誌（1988）自然環境編・民俗編
八坂村誌（1993）民俗編・民俗編資料
美麻村誌（1999）民俗編
白馬の歩み 白馬村誌（2003）第3巻
小谷村誌（1993）社会編：梅池誌（2003）

◆南信

飯田市：鼎町史（1997）下巻・龍江村誌（1997）
岡谷市：小井川区誌（2007）
諏訪市史（1995）上巻：豊田村誌（2013）下巻・湖南村誌（2017）
伊那市史（1982）現代編：みすゞ（1972）現代編
茅野市史（1988）下巻：豊平村誌（1966）芹ヶ沢誌（2000）槻木区史（2010）
下諏訪町誌（2000）民俗編
富士見町史（2005）下巻：葛窪区誌（2013）
原村誌（1993）下巻
上伊那誌（1980）第5巻
高遠町誌（1979）下巻
辰野町誌（1988）近現代編
飯島町誌（1993）下巻現代民俗編
南箕輪村誌（1984）上巻
中川村誌（2005）下巻 近現代編／民俗編
長谷村誌（1993）第1巻

宮田村誌（1983）下巻
松川町史（2010）第3巻：上片桐村誌（1972）
阿南町誌（1987）下巻
清内路村誌（1982）下巻
浪合村誌（1984）上巻・下巻
平谷村誌（1996）上巻
根羽村誌（1993）下巻
天龍村史（2000）下巻
泰阜村誌（1984）下巻
喬木村誌（1979）下巻
大鹿村誌（1984）下巻
南信濃村史（1970）：南信濃村史 遠山（1976）